

建聖寺	能美郡小松拜領地	東嶺寺	鹿島郡田鶴濱村拜領地
誓願寺	能美郡小松地子地	悅叟寺	鹿島郡田鶴濱村地子地
桃雲寺	石川郡野田拜領地。寺領五十八石	龜源寺	鹿島郡三引村拜領地
大乘寺	石川郡寺地山拜領地	大覺寺	鹿島郡笠師村拜領地
定光院	大乘寺塔頭	蓮江寺	鳳至郡輪島村拜領地。寺領十石外四石五斗出分
東光院	同上	聖光寺	鳳至郡輪島崎地子地
高安軒	同上	靈泉寺	鳳至郡輪島崎村地子地
一閑院	石川郡鶴來村拜領地	常椿寺	鳳至郡宇出津村地子地
龍源寺	石川郡宮腰町地子地	海前寺	鳳至郡宇出津村地子地
泉龍寺	羽咋郡子浦村地子地	萬年寺	鳳至郡七海村地子地
長松寺	羽咋郡飯山村拜領地	瑞源寺	鳳至郡川島村地子地
豐財院	羽咋郡白瀬村拜領地	光現寺	鳳至郡寺地村地子地
宗泉寺	羽咋郡堀松村拜領地	智德寺	鳳至郡廣江村地子地
道興寺	羽咋郡館開村拜領地	洞光寺	鳳至郡前波村地子地
龍護寺	羽咋郡酒見村拜領地	慶光寺	洞光寺塔頭
永光寺	鹿島郡酒井村拜領地。寺領二十石	藏福院	鳳至郡石井村地子地
良立寺	鹿島郡酒井村拜領地	長雲寺	鳳至郡神波村地子地
海門寺	鹿島郡太田村拜領地。寺領三十石	最安寺	鳳至郡西安寺村地子地
靈泉寺	鹿島郡所口拜領地。寺領五石七斗五升外七百八十二歩畠	洞雲寺	鳳至郡八之田村拜領地
泉龍寺	靈泉寺塔頭	太盛院	鳳至郡三田村地子地
最勝寺	鹿島郡所口拜領地	廣福寺	鳳至郡矢波村地子地
寶塔寺	鹿島郡藤橋村拜領地	大蓮寺	鳳至郡那甲村地子地
德翁寺	鹿島郡小島村拜領地	宗源寺	鳳至郡鹿波村地子地
長齡寺	鹿島郡小島村拜領地	大龍寺	鳳至郡中居南村地子地
惠眼寺	鹿島郡小島村拜領地	仙慶庵	鳳至郡中居南村地子地
德林寺	鹿島郡小島村拜領地	全翁寺	鳳至郡波志借村地子地
龍門寺	鹿島郡小島村拜領地	大用寺	鳳至郡小泉村地子地
德雲寺	鹿島郡小島村拜領地	滿福寺	珠洲郡松波村地子地
榮芳寺	鹿島郡吉田村拜領地	寶光院	珠洲郡松波村地子地
		金峰寺	珠洲郡松波村地子地
			珠洲郡金峰寺村拜領地。寺領十石

永禪寺 珠洲郡寺社村地子地  
昌樹寺 珠洲郡古藏村地子地  
法恩寺 珠洲郡中村地子地  
千光寺 珠洲郡正院村地子地  
本光寺 珠洲郡馬線村地子地  
守禪庵 本光寺塔頭  
天崇寺 珠洲郡森腰村地子地  
海藏寺 珠洲郡片岩村地子地  
曹源寺 珠洲郡長橋村地子地  
○大聖寺壽  
實性院 江沼郡大聖寺町  
全昌寺 江沼郡大聖寺町

○加賀藩  
越中國泰寺觸下  
國泰寺 金澤泉寺町拜領地  
禪栖院 金澤野田寺町拜領地  
松源庵 金澤千日町地子地  
定林寺 鹿島郡中島村拜領地  
願成寺 珠洲郡延武村地子地  
吉祥寺 珠洲郡吉池村地子地  
福聚庵 吉祥寺塔頭  
無量院 珠洲郡吉池村地子地  
翠江院 珠洲郡栗津村地子地

センシユウノリトホ 千秋範遠 通稱喜兵衛 衛丈助。寛延元年父半太夫の遺知百五十石を受け、江戸御廣式番・御前様御用人を經、天明七年五十石を加へ、寛政五年定番頭となり、八年御免、享和二年歿した。

センシユウノリマサ 千秋範昌 通稱主殿助。元越前の人千秋山城守の子。前田利家に府中に仕へ、一方の物頭として奥村永福と共に末森城の守備に當つた。天正十二年九月佐々成政の來襲した時、範昌能く籠城の功を全くしたから、戦後十六日利家は、押水の内千俵の地を加増して之を賞し、前後八千五百六十俵を受けた。範昌歿後一子彦兵衛幼にして五百石を受け、爲に家道衰へたが、後裔相襲いで藩に仕へた。

センシユウフジアツ 千秋藤鷹 通稱順之助。初隲藤範。願堂有磯・黄薇庵等と號した。範鷹の次子で、文化十二年八月晦日生まる。幼にして明倫堂に學び、天保十年訓導加人に擢られたが、十二年之を辭し、昌平費に遊んで舎長となつた。弘化二年藤鷹藩に歸つて新番組に班し、明倫堂助教加人となり、安政四年六月祿百石を賜はつて組外に列し、明倫堂助教に進み、尋いで世子前田慶寧の侍讀を兼ねた。人と爲り剛直、書を君前に講ずるや、時務の得失を論じて忌憚する所なく、その主張する所は、尊王の大義に従ひて藩屏の任を盡くし、天下の大諸侯たる面目を發揮せんとするにあつた。元治元年慶寧の上洛に従ひ、同志の長藩と相策動した時、藤鷹亦内にあつて慶寧を誘接し、之をして努めて尊攘に向かはしめた。既にして慶寧の退京するに及び、扈從して國に歸つたが、八月十六日小松に至つて捕へられ、竹田掃部の家に鎖せられた。因つて十九日上書して退京の理由を陳辯したが、十月十八日獄成つて切腹を命ぜられた。時に年五十。一子堅次郎亦連座して流に處せられたが、齡尙幼なるを以て暫く一類預とな